

## 1 学校教育目標

○よく考え進んで実行する子    ○なかよく助け合う子    ○心も体もきたえる子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自ら学び、自ら考え、学ぶ意欲を育成する学校</li> <li>・心と体の健康づくりを進め、豊かな人間関係を育成する学校</li> <li>・保護者・地域・教職員が互いに尊重・理解し合い、協働で児童を育成する学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら学び、考え、判断し、問題を解決しようとする児童</li> <li>・素直で明るく、優しく、進んであいさつができる児童</li> <li>・お互いに、心を耕し、体を鍛え、高め合う児童</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の心が分かり、熱意と使命感のある教師</li> <li>・どの子も分かる喜びをもてる授業をつくり、自らも学び続ける教師</li> <li>・組織人としての自覚をもち、主体的に学校運営に参画する教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 【学校の現状】

- 学校…児童一人一人の基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために個別指導に力を入れている。様々に取り組みの成果もあり、児童の自己肯定感も高まっているが、読解力になお、課題がある。特色ある教育活動として、落語や俳句、百人一首、将棋等の伝統的文化活動を積極的に進めている。
- 児童…明るく素直な児童が多く、落ち着いて学校生活を送っている。自ら考え、主体的に取り組む姿勢を育てていきたい。
- 教師…日々の教育活動に熱心に取り組む、互いに高め合い、授業改善を図っている。外国語活動・外国語科の研究を軸に、授業力向上を目指している。
- 地域・保護者…PTA、開かれた学校づくり協議会、放課後子ども教室、学習支援ボランティアなど学校への理解が厚く、協力的であり、日々支えられている。

### 【成果と課題】

- 学力向上…学力向上部会を中心に、全校で基礎学力の定着・向上に取り組んだ。その結果、当初の区学力調査結果の数値が6月の再実施では、国語・算数ともに4月調査の結果より+9.7%になった。さらに2月に実施した本年度（現学年）の区学力調査通過率では、区平均に-0.9にせまる82.9%となった。今後も引き続き基礎的・基本的な内容の定着が不十分な児童に対して、個に応じた指導を充実させることと、全児童に読解力をつけていくこと。また、地域や地域人材を活用させていただき、体験的活動を一層推進していく中で、児童が知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力を高め、主体的・協働的に学ぶ学習を目指していく。
- 健康な心身の育成…あいさつを重視して、あたたかな人間関係を育ててきた。今後も思いやりの心をさらに育てていく。いじめや不登校傾向、児童の生活指導上の問題行動等には、全校で共通理解を図りながら組織的に対応してきた。また、日頃から体力向上を意識し、計画的に取り組んでいく。
- 家庭・地域との連携…地域の幼稚園・保育園・中学校と交流を進めてきた。また、地域や地域人材を活用させていただき学習を進めることができた。今後も発信に努め、引き続き地域の中の湊江小学校として活動し、学校愛・地域愛を育てていく。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	健康な心身の育成	◎	◎	◎	○	○
3	家庭・地域との連携	○	○	○	○	○

## 5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
国語・算数の基礎的・基本的な学習内容の定着		4月には国語・算数共に82%、6月の再調査では、90%の通過率を目指す。		4月は国語79.6%・算数81%、2教科平均80.3%。6月再調査は93.4%・94.1%平均93.7%。		4月は目標達成できず－1.7。再調査は6月に実施し、目標を達成+3.7。各学年学習成果を出すことができた。		○	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	児童主体の授業	全学年・ 全教科	通年	大仙市を参考にめあてから振り返りまで児童主体の授業にする。	管理職による 確認	国語・算数では 100%	授業観察時には、 100%実施。	内容により上手い かない時もあるが意 識できた。継続する。	○
継続	けやきタイム	国語 ・算数	月1時 間	学年で国語・算数を20分 ずつ担当し、読解力に 特化した指導とつまずき 解消に向けた指導を行う。	区学力調査年 度末の目標通 過率82%以上	年間11回以上 実施	年間11回実施。国語 88.4%。算数91.9%。 2教科平均90.1%と なった。	目標値を8.1%上回 り、成果が出た。	◎
継続	パワーアップタイム	国語 ・算数	火:計算 水:読書 木:漢字 金:作文	朝の会開始前15分で実施。 火曜・木曜はAIドリルの 活用で個に応じた漢字・計 算の学習と音読、水曜は読 書、金曜は短作文に取り組 ませ、読み・書き・計算の 力を身に付けさせる。	管理職による 確認	1年のみ6月か ら。2年以上は、 4月から各担任 が100パーセン ト実施する。	全学級100%実施で きた。	作文指導では、短時 間に自分の考えを書 ける児童が多くなっ ている。音読が軽視 されがちであること が課題である。	○

継続	放課後補習教室 (けやき教室)	国語 算数	火・金・ の週2 回設定	【指導者体制】 担任+専科+COM 教員 【取組のねらい・目的】 つまずきのある児童の 補習を行う。 【どのように】 演習を中心に個別指導。	1回30分×年 間30回以上	補習開始時と 終了後の確認 テストで正答 率を80%以上 にする。	全33回実施した。開 始前後のテストで正 答率80%達成。	全学年一致した行動 で取り組み、個に応 じた課題に取り組み せ、自信をつけた。 できる・わかるを重 ね、意欲も向上した。	◎
継続	算数・漢字 コンテスト	全学年	夏・冬休 み前	長期休業前に「算数・漢字 コンテスト」として定着度 テストを実施する。	年2回実施	80%で合格。 不合格者は、休 業明けに再テ スト実施。9割 の児童が合格。	夏は8割の児童が 80%以上で合格。冬 は96.3%・94.5%が 合格した。	やる気が成果に表 れ、自信につながっ た。個に応じた目標 に取り組み自信をつ けた児童もいる。	◎
継続	読書活動	全学年	通年	足立読書通帳の活用。年間 低学年80冊以上、中学年 50冊、高学年30冊以上。	読書通帳の 点検	100%	全学級目標冊数を 100%の児童が達成。	目標冊数の他に意識 向上も図っていきた い。	◎
新規	かけ算九 九検定	3年以上	4月と 9月の 年2回	100問テストを実施。	100点で合格。 不合格者は再 テスト。	100点で合格。 90%以上の合 格。	対象児童は100% 合格した。	定期的に実施するこ とで、確認の場とな るので、継続する。	◎

<b>重点的な取組事項－2</b>		健康な心身の育成			
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>思いやりの気持ちと態度の育成。</li> <li>年間を通じた体力向上へ向けての取組を積極的に行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>年3回のいじめ調査において、対応後、すべて解決する。</li> <li>日常の体育の時間に計画的に取り入れられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ調査で出てきた課題は迅速に対応し解決を図ってきた。</li> <li>授業で計画的に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異学年の自然な交流も見られる。</li> <li>今後も継続して授業で取り組む。</li> </ul>	◎
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
気持ちの良い挨拶と規範意識の向上	学校評価アンケート「挨拶と規範意識」の肯定的評価80%以上。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「挨拶・校帽・くつそろえ」年間を通して指導。</li> <li>家庭・地域への啓発。</li> </ul>	「挨拶・校帽・くつそろえ」意識して取り組んだ。保護者アンケートの肯定的評価が後期は85%となった。	校外に出ても場に応じた気持ちよい挨拶ができ立派である。校内での挨拶に力を入れる。	◎

交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>たてわり班活動を年8回以上実施する。</li> <li>異学年交流を2回以上実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画を基に、たてわり班活動を実施する。</li> <li>学習の中に、異学年との交流を計画する。</li> </ul>	たてわり班活動は9回実施し。異学年交流を各学年2回以上実施。	登校時や休み時間に異学年の児童が声を掛け合う場面が多々見られる。思いやりの気持ちと態度を育成するために今後も継続したい。	◎
体育的活動の充実	体力向上に向け、年間を通して全校で取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力調査の項目について、体育授業の始め5分に取り入れ、年間を通じて向上を図る。</li> <li>中休みの外遊びとふちえパークの計画的活用。</li> </ul>	今年度の課題を基に、日々の体育授業の初め5分間で取り組むべき内容を周知し、授業で取り組んできた。長縄・短縄持久走月間やふちえパークも含め、体力向上に向け、日頃から取り組んでいる。	体力向上に向け、ABCD結果を%で表し、学年ごとの課題だけでなく、全体としての向上率を明確にしていく。	◎

重点的な取組事項－3		家庭・地域との連携			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
学校・家庭・地域の中に、「家庭・地域と共に育つ学校」という共通意識をもつ。		学校評価アンケート「連携について」の肯定的評価80%以上。	学校評価の結果、前期71.3%、後期74.6%の肯定的評価だった。	今年度は特に連携が強化できた一年だったが上手く伝わっていない実態がある。	△
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
地域や地域人材を活用させていただく教材の開発	各学年2回以上の探求学習の実施	1,2年は生活科で公園探検や地域探検、3～6年は社会・総合的な学習の時間での地域人材や外部機関との連携学習を実施し、主体的・協働的に学ぶ学習を充実させる。	1,2年・・・生活科での公園探検や地域探検。3～6年・・・社会・総合的な学習の時間での地域人材や外部機関との連携学習を各学年2回以上実施した。主体的・協働的な学習を進めることができた。	ICTを効果的に活用しながら学習発表会で充実した発表をすることができ、児童の「地域の中の湧江小」という意識が高まった。	◎
保護者による年間2回の学校評価の実施	2回の学校評価アンケートの平均回収率70%以上	年2回アンケートを実施。変容の分析と課題への迅速な対応・改善。	保護者による年間2回の学校評価を実施。前期66.3%、後期90.1%、平均回収率は78.2%。保護者の意見に対しては個々に丁寧に対応してきた。	フォームで回答にしてから回収率が上がらなかったが手紙で再配布すると90.1%になった。項目の検討とともに考えていく。	○

## 6 まとめ

### (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

#### 学力向上アクションプランについて

【課題】・4月の区調査において国語 79.6%・算数 81%、2教科平均 80.3%の通過率であり昨年度より国語は-1.7ポイント、算数では-0.3ポイントとなった。

また、2月に実施した現学年の調査では、国語 88.4%・算数 91.9%の通過率となり、2教科平均 90.1%となった。

【対策】・授業では、大仙市の取り組みを核に、めあてから振り返りまで児童主体の授業づくりを意識して取り組んできた。その結果、自分の思いや考えを伝えることができる児童が増えてきた。今後も継続して取り組んでいく。

・補習では、読解力・思考力育成のため、「けやきタイム」を月1回全学年で実施してきた。学年の担任が、20分ずつ国語と算数を担当することで、短時間に集中して取り組むことができた。今後も継続していく。

・個別指導では、長期休業前の「算数・漢字コンテスト」では、児童の取組意欲を高めることができた。冬には、95%の児童が合格することができ、成果が表れている。かけ算九九検定も100%達成した。また、AIドリルを朝のパワーアップタイムに引き続き取り入れ、個に応じた課題に取り組ませ、一人一人の課題克服を図っていく。

### (2) 保護者や地域へのメッセージ

教員は日々授業改善しながら毎日の授業に取り組んでいます。また大仙市の取組を取り入れ、外国語活動・外国語科の研究にも取り組んでいることで教員の授業力も向上してきています。放課後補充教室である「放課後けやき教室」では子供たちと個別に向き合い、基礎・基本の定着に努力しております。4月の学力調査は前年度より-1%と結果が出ました。6月の再調査では91%の児童が前年度までの学習内容をクリアしました。また、PTAや開かれた学校づくり協議会の皆様のご協力のもと、理科園芸委員の児童と共に花いっぱい活動に取り組み、奨励賞を足立区からいただきました。生活科や総合的な学習の時間等で地域に出かけたり地域の皆様のご協力を得たりして活動し、外部機関を含めて1年6回、2年7回、3年9回、4年10回、5年7回、6年13回と地域や地域の皆様、外部機関との連携を図った学習に取り組むことができ、その成果を体育館のステージで発表する学習発表会で発表しました。その他、学校全体では2回実施することができました。児童も、「地域の中の淵江小」という意識が高まりました。今後も地域・社会に開かれた学校として、地域や地域の皆様のご協力をいただき、学習を充実させていきたいと思っています。そして「地域の中の淵江小学校」として活動させていただきます。「笑顔あふれる淵江小」を常に目標に掲げ、進化し続けたいと考えています。

### (3) その他（学校教育活動全般について）

足立区教育委員会指導力向上中核校（外国語活動・外国語科）として、研究をすすめて5年目を終えた。外国語以外でも授業力を高めようと教員同士が高め合っている。その成果もあり、授業の中で自分の思いや考えを表現できる児童が増えてきている。今後は、児童が習得した力を活用して問題を解決するための「思考力・判断力・表現力」の育成を通じて基礎学力のさらなる定着を図っていく。そして、児童中心の探究的な学習へと転換を図り、充実させていきたい。生活面では「あいさつ・校帽・くつそろえ」ができ、全体的に落ち着いている。今後も組織的に対応と指導を行い、規範意識の向上に努めていく。あいさつの取組は、今後も継続していく。体力向上では個々の学年の課題把握と対策は必須だが、今後は学校全体としての向上率が分かる形でも提示して取り組み、体力のさらなる向上を図っていく。本校の伝統である、「落語・俳句・将棋・百人一首」にも多くの方が関わってくださるおかげで、児童も活躍の場を広げている。昨年度に引き続き、タブレットを活用して「句会」を実施した。今後も、保護者・地域の皆様との連携を密にし、協力をいただきながら、学校・保護者・地域が一つになって「笑顔あふれる淵江小」にしていく。そのために、日々生じる課題に迅速に対応しながら、持続可能な活動を模索していきたい。